

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成27年3月25日 午後6時00分から午後8時00分まで
3 会場	西部公民館 1階 大ホール
4 出席者	高橋会長、湊委員、石塚委員、市村委員、小市委員、小宮山委員、塩野崎委員、渋谷委員、清水委員、関口委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、馬場委員、濱村委員、堀内委員、宮下委員、山崎委員、湯田委員
5 市側出席者	水野地域振興政策幹、堀内市民参加・協働推進係長、樋口市民参加・協働推進主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年3月31日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議事項

(1) わがまち魅力アップ応援事業の審査について

- ・応募団体 『下塩尻桜づつみホテル会』による事業説明
- ・以下、質疑応答

(委員): トイレや井戸の維持管理費についてどう考えているのか。

(説明者): 今まで実施したホテル鑑賞会の期間には、観光客の方に100円を負担していただいた。基本的には会の資金から出すが、安全安心のためにこれからも来られた方に多少ではあるが、負担していただきたいと考えている。

(委員): 健康推進を目的としたウォーキング等を実施するなら、体育協会などとも連携して実施していただきたい。

(説明者): 市関係課や関係団体と連携して実施する予定である。

(委員): ウォーキングコースは普段から車が通る生活道路であるが、安全面についてどう考えているか。

(説明者): 今まで住民の方に交通整理等を協力していただいたこともあり、一切事故が起きていないので、今後も同様に取り組みたい。

(委員): 事業の趣旨等は良い取組だと思う。今回看板を設置するウォーキングコースは、上田大橋からどのくらい距離があるのか。また、夏だけの取組なのか。

(説明者): 約12,000歩で、夏だけでなく通年である。

- ・応募団体 『緑が丘西自治会』による事業説明
- ・以下、質疑応答

(委員): 西部公民館建替えとの整合性についてはどのように考えているか。

(説明者): この事業は防災チームの拠点づくりがメインなので、問題ないと考えている。

(委員): 都市公園でなく自治会館に設置はできないのか。

(説明者): いざ災害が起きた時は、防災のために独立した場所の方が対応できると考えている。

(委員): 防災倉庫を設置すると、子どもたちが遊ぶスペースが少なくなると思うが、それについてはどう考えるか。また、倉庫をより安く購入することはできないのか。

(説明者): 設置する防災倉庫は大きいものではなく、子どもたちのスペースを全て奪ってしまうわけではないので、それについてあまり心配はしていない。倉庫についてだが、質を落としては意味がないので、極力安く購入するよう努めるが、定価でもより質の高いものを購入したい。

(委員): 西部地域の防災拠点としたいとおっしゃっているが、その道筋について詳細に教えていただきたい。

(説明者): この事業を起こしたことが、他の自治会に先行する取組であると考えている。

(委員): この地域の一次避難場所はどこか。

(説明者): 一次避難場所は緑が丘西自治会館だが、地震が起こるといつ倒れてもおかしくない状態である。

(2) 第二次上田市総合計画策定における地域まちづくり方針見直しについて

- ・事務局より最終案を提示。
- ・以下、協議

(委員): 「自治会を超えた地域間の協力・連携」という文言についてだが、「協力・連携」よりも「対策」という言葉の方が取り組みの方向性を示すという意味では良い気がする。

(会長): 今の意見についてどう思うか。

(委員全員): 異議なし。

(3) 今後の予定

【次回日程】 平成27年4月21日(火) 午後1時30分から

4 その他 なし

5 閉会